

3年「たつきゅうは四人まで」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された主題発問への考えを生活とつなげるために、「もしも、皆さんの身の回りで〇〇なことが起こっても、これらの考え方をもっていると、どんなことができると思いますか」など、振り返りの4観点に関わる話をして、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの4観点を取り入れて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

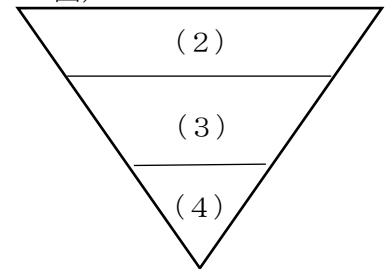
先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	どんな友達に対しても、最低限の付き合い方がある
導入	卓球には、ダブルスといって、四人で試合をする方法があります
展開前段	○とおるが「仲間に入れて」と言ったとき、しゅんは、どんなことを思ったでしょう ○帰りに謝ったのに帰って行ったとおるを見て、しゅんは、どんなことを思ったでしょう ○四人で卓球をしているとき、しゅんは、どんな気持ちだったのでしょうか
つなぎ発問①	○帰りに、しゅんに「ごめんね。スポーツセンターに来ていいよ」と言われたのに、とおるが断ったのはどうしてでしょう ○仲がよい友達、特別仲がよくない友達とは、どんな友達でしょう ○次の日、四人は、どう言って謝るのがよいのでしょうか
展開後段	どんな友達に対しても、これだけは大事にしないといけないことは、どんなことでしょうか
つなぎ発問②	・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことは、どんなことですか

	・①のことで、もうやっているよというのは、どんなことですか ・①のことで、これから、やってみたいことは、どんなことですか では、振り返りを書きましょう
振り返り	

別案

(イメージ図)



- (1) 上記の展開前段は省いて、つなぎ発問①を問う
 - (2) 展開後段をワークシートに書かせる
 - (3) グループで発表し合い、簡単な1文に要約させる
 - (4) 発表し、さらに、みんなで話し合って、簡単な1文に要約させる
- ※複数の文も可とする
- ※要約させる際は、みんなが、「だいたいOK」程度にする